

(抜粋)

教育・保育施設等の事故防止のための ガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

株式会社インターリスク総研調べ

(平成 27 年度教育・保育施設等の事故防止のための
ガイドライン等に関する調査研究事業)

平成 27 年 11 月

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

発送日 : 2015年10月7日
 発送数 = 1,000
 回収数 = 386
 回収率 = 38.6%

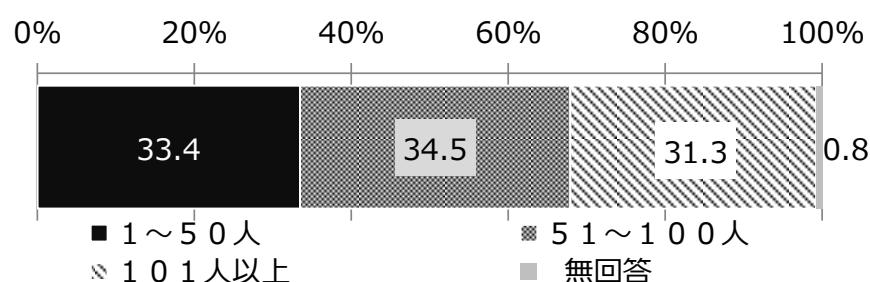
◆ 認可／認可外

	回答数 (件)	回答率 (%)
認可	295	76.4
認可外	83	21.5
無回答	8	2.1
合 計	386	100



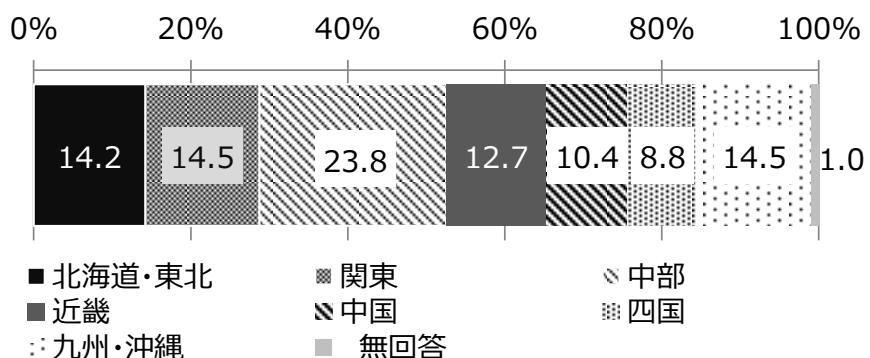
◆ 預かっている子どもの数合計

	回答数 (件)	回答率 (%)
1～50人	129	33.4
51～100人	133	34.5
101人以上	121	31.3
無回答	3	0.8
合 計	386	100
平 均		82.9
最小値		1
最大値		354



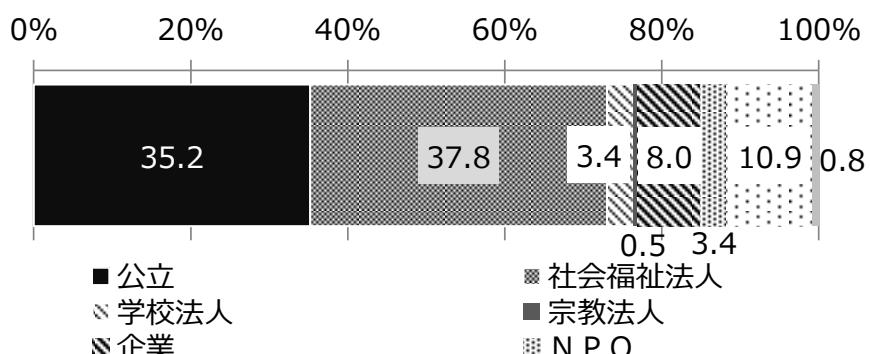
◆ 都道府県

	回答数 (件)	回答率 (%)
北海道・東北	55	14.2
関東	56	14.5
中部	92	23.8
近畿	49	12.7
中国	40	10.4
四国	34	8.8
九州・沖縄	56	14.5
無回答	4	1.0
合 計	386	100



◆ 運営形態

	回答数 (件)	回答率 (%)
公立	136	35.2
社会福祉法人	146	37.8
学校法人	13	3.4
宗教法人	2	0.5
企業	31	8.0
N P O	13	3.4
その他	42	10.9
無回答	3	0.8
合 計	386	100



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

◆ 施設の規模

保育、教育にあたる正職員数	回答数(件)	回答率(%)
0人	1	0.3
1～5人	122	31.6
6～10人	113	29.3
11～15人	62	16.1
16～20人	35	9.1
21～25人	22	5.7
26～30人	6	1.6
31～35人	4	1.0
36～40人	-	-
41人以上	1	0.3
無回答	20	5.2
合 計	386	100

保育、教育にあたる正職員以外の総数	回答数(件)	回答率(%)
0人	5	1.3
1～5人	140	36.3
6～10人	109	28.2
11～15人	48	12.4
16～20人	35	9.1
21～25人	10	2.6
26～30人	5	1.3
31～35人	2	0.5
36～40人	1	0.3
41人以上	2	0.5
無回答	29	7.5
合 計	386	100

◆ 預かっている子どもの数

0歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	38	9.8
1～10人	243	63.0
11～20人	63	16.3
21～30人	6	1.6
31～40人	-	-
41～50人	-	-
51人以上	-	-
無回答	36	9.3
合 計	386	100

3歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	6	1.6
1～10人	103	26.7
11～20人	127	32.9
21～30人	61	15.8
31～40人	46	11.9
41～50人	5	1.3
51人以上	10	2.6
無回答	28	7.3
合 計	386	100

1歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	8	2.1
1～10人	159	41.2
11～20人	129	33.4
21～30人	61	15.8
31～40人	7	1.8
41～50人	3	0.8
51人以上	-	-
無回答	19	4.9
合 計	386	100

4歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	11	2.8
1～10人	98	25.4
11～20人	126	32.6
21～30人	53	13.7
31～40人	43	11.1
41～50人	15	3.9
51人以上	9	2.3
無回答	31	8.0
合 計	386	100

2歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	2	0.5
1～10人	145	37.6
11～20人	136	35.2
21～30人	58	15.0
31～40人	26	6.7
41～50人	4	1.0
51人以上	1	0.3
無回答	14	3.6
合 計	386	100

5歳児	回答数(件)	回答率(%)
0人	14	3.6
1～10人	105	27.2
11～20人	113	29.3
21～30人	62	16.1
31～40人	32	8.3
41～50人	18	4.7
51人以上	7	1.8
無回答	35	9.1
合 計	386	100

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

2.水遊び、プールの安全

(質問1)今夏の、暑い盛りの水遊び、プール活動のだいたいの頻度を教えてください。

◆水遊び おむつの有無		0歳クラス (有)	1歳クラス (有)	2歳クラス		3歳クラス		4歳クラス	5歳クラス
		無	有	無	有	無	有	-	-
回答数 (件)	毎日orほぼ毎日	101	91	52	40	36	34	39	39
	週に数回	119	127	74	67	60	35	62	56
	週1程度	23	8	7	8	16	5	14	12
	週1回未満	9	5	5	6	7	6	8	7
	その他	15	10	7	4	6	3	5	6
	合計	267	241	145	125	125	83	128	120
回答率 (%)	毎日orほぼ毎日	37.8	37.8	35.9	32.0	28.8	41.0	30.5	32.5
	週に数回	44.6	52.7	51.0	53.6	48.0	42.2	48.4	46.7
	週1程度	8.6	3.3	4.8	6.4	12.8	6.0	10.9	10.0
	週1回未満	3.4	2.1	3.4	4.8	5.6	7.2	6.3	5.8
	その他	5.6	4.1	4.8	3.2	4.8	3.6	3.9	5.0
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100

n= 56

他の主な記載内容 (各年代共通)

プールあそびができない暖かい時期

気温、気候を見て決める

個別に体調に合わせて行う。

沐浴という感じ・天候と個人の体調をみながら。

◆プール おむつの有無		0歳クラス (有)	1歳クラス (有)	2歳クラス		3歳クラス		4歳クラス	5歳クラス
		無	有	無	有	無	有	-	-
回答数 (件)	毎日orほぼ毎日	25	95	120	75	150	64	149	151
	週に数回	27	27	107	63	114	62	127	114
	週1程度	5	5	11	5	10	3	10	7
	週1回未満	37	37	15	17	8	13	6	8
	その他	5	5	7	5	18	6	15	16
	合計	99	169	260	165	300	148	307	296
回答率 (%)	毎日orほぼ毎日	25.3	56.2	46.2	45.5	50.0	43.2	48.5	51.0
	週に数回	27.3	16.0	41.2	38.2	38.0	41.9	41.4	38.5
	週1程度	5.1	3.0	4.2	3.0	3.3	2.0	3.3	2.4
	週1回未満	37.4	21.9	5.8	10.3	2.7	8.8	2.0	2.7
	その他	5.1	3.0	2.7	3.0	6.0	4.1	4.9	5.4
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100.0

n= 77

他の主な記載内容 (各年代共通)

歩ける子：天気の良い日（1歳クラス）

7月～8月末まで毎日 土曜日とお盆の週 雨天の日は休み

基本的に気温、水温が高く、行事等ない場合

小学校のプールに、入らせてもらっている。行事のない日で小学校が使わない日。約10日程。

個別に体調に合わせて行う

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

〔質問2〕一度に水の中に入れる人数と指導する職員数を教えてください。

【3歳】

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
5人以下	34	8.8
6～10人	87	22.5
11～15人	79	20.5
16～20人	61	15.8
21～25人	24	6.2
26～30人	21	5.4
31人以上	17	4.4
無回答	63	16.3
合計	386	100

水の中で指導する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
1人	163	42.2
2人	110	28.5
3人	18	4.7
4人	6	1.6
5人以上	2	0.5
無回答	87	22.5
合計	386	100

水の外で監視する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
224	58.0	
45	11.7	
14	3.6	
2	0.5	
1	0.3	
100	25.9	
386	100	

【4歳】

一度に水の中に入れる子どもの人数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
5人以下	35	9.1
6～10人	73	18.9
11～15人	74	19.2
16～20人	58	15.0
21～25人	33	8.5
26～30人	22	5.7
31人以上	20	5.2
無回答	71	18.4
合計	386	100

平均 (人)	15.9
最小値 (人)	1
最大値 (人)	66

水の中で指導する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
1人	178	46.1
2人	90	23.3
3人	18	4.7
4人	3	0.8
5人以上	2	0.5
無回答	95	24.6
合計	386	100

水の外で監視する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
226	58.5	
39	10.1	
7	1.8	
1	0.3	
1	0.3	
112	29.0	
386	100	

【5歳】

一度に水の中に入れる子どもの人数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
5人以下	33	8.5
6～10人	72	18.7
11～15人	71	18.4
16～20人	60	15.5
21～25人	27	7.0
26～30人	24	6.2
31人以上	22	5.7
無回答	77	19.9
合計	386	100

平均 (人)	16.3
最小値 (人)	1
最大値 (人)	63

水の中で指導する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
1人	188	48.7
2人	80	20.7
3人	12	3.1
4人	4	1.0
5人以上	1	0.3
無回答	101	26.2
合計	386	100

水の外で監視する

職員数

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
224	58.0	
36	9.3	
5	1.3	
1	0.3	
1	0.3	
119	30.8	
386	100	

平均 (人)	1.4
最小値 (人)	1
最大値 (人)	7

平均 (人)	1.2
最小値 (人)	1
最大値 (人)	5

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

子どもの人数と職員配置

※ 3～5歳の各データの人数分布の傾向が同様のため、「4歳」のデータを基に子どもの人数と職員配置について分析を実施

※ 「一度に水の中に入れる子どもの人数」に数字が入力されており、「水の中で指導する職員数」と「水の外で監視する職員数」の両方またはいずれかに数字が入力されていた回答について抽出・分析（職員数の片方が未記入の場合は「0人」と認識。両方記載なしの場合は分析対象外とした）。

◆子どもの人数：10人以下の場合

n=106

		水の外で監視する職員数						合計
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
水の内で指導する職員数	回答数(件)	0人	7	8	0	1	0	16
		1人	10	45	4	1	0	60
		2人	7	15	2	2	0	26
		3人	0	4	0	0	0	4
		4人	0	0	0	0	0	0
		5人以上	0	0	0	0	0	0
		合計	17	71	14	3	0	106
水の内で指導する職員数	回答率(%)	0人	6.6	7.5	0.0	0.9	0.0	15.1
		1人	9.4	42.5	3.8	0.9	0.0	56.6
		2人	6.6	14.2	1.9	1.9	0.0	24.5
		3人	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8
		4人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		合計	16.0	67.0	13.2	2.8	0.9	100

◆子どもの人数：11人～20人以下の場合

n=132

		水の外で監視する職員数						合計
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
水の内で指導する職員数	回答数(件)	0人	2	4	0	0	0	6
		1人	9	68	6	0	0	83
		2人	7	28	3	0	0	38
		3人	2	0	0	1	0	3
		4人	0	2	0	0	0	2
		5人以上	0	0	0	0	0	0
		合計	18	100	13	1	0	132
水の内で指導する職員数	回答率(%)	0人	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	4.5
		1人	6.8	51.5	4.5	0.0	0.0	62.9
		2人	5.3	21.2	2.3	0.0	0.0	28.8
		3人	1.5	0.0	0.0	0.8	0.0	2.3
		4人	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5
		5人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		合計	13.6	75.8	9.8	0.8	0.0	100

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

◆子どもの人数：21人～30人以下の場合

n=55

		水の外で監視する職員数						
水の 中で 指導 する 職員 数	回答数 (件)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計
		0人		1	1	0	0	2
		1人	1	21	4	1	0	27
		2人	3	14	5	0	0	22
		3人	1	2	0	0	1	4
		4人	0	0	0	0	0	0
		5人以上	0	0	0	0	0	0
	合計	5	38	10	1	0	1	55
水の 中で 指導 する 職員 数	回答率 (%)	0人	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6
		1人	1.8	38.2	7.3	1.8	0.0	49.1
		2人	5.5	25.5	9.1	0.0	0.0	40.0
		3人	1.8	3.6	0.0	0.0	0.0	7.3
		4人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	9.1	69.1	18.2	1.8	0.0	1.8	100

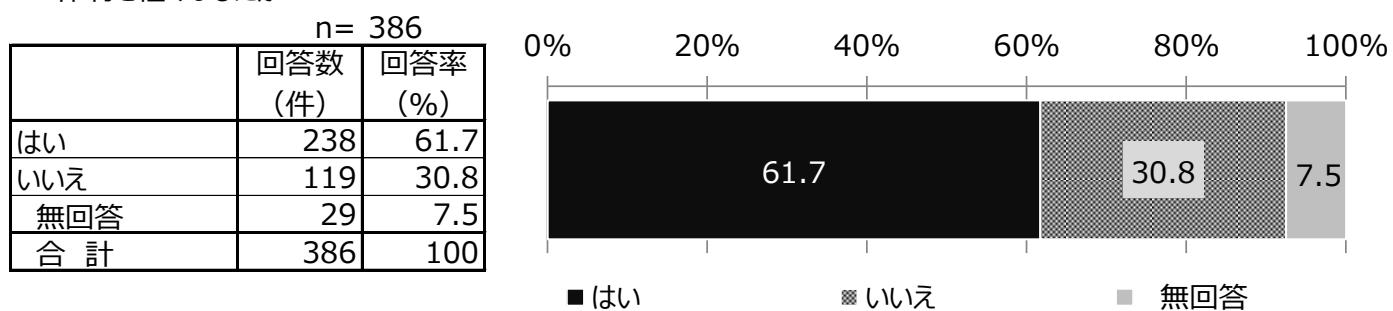
◆子どもの人数：31人以上の場合

n=20

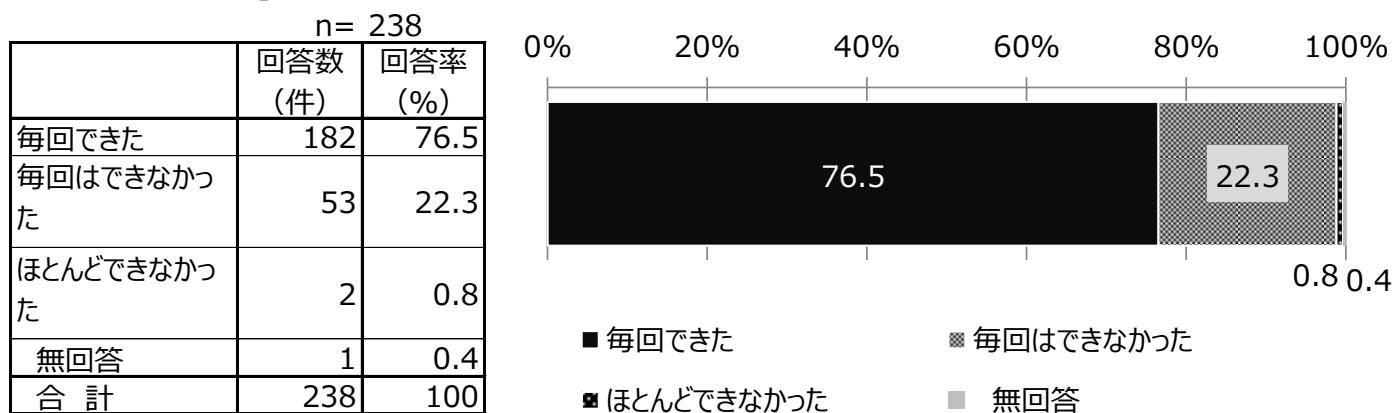
		水の外で監視する職員数						
水の 中で 指導 する 職員 数	回答数 (件)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計
		0人		0	0	1	0	1
		1人	1	4	0	0	0	5
		2人	0	4	0	0	0	4
		3人	0	5	1	1	0	7
		4人	0	1	0	0	0	1
	合計	2	14	2	2	0	0	20
水の 中で 指導 する 職員 数	回答率 (%)	0人	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0
		1人	5.0	20.0	0.0	0.0	0.0	25.0
		2人	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		3人	0.0	25.0	5.0	5.0	0.0	35.0
		4人	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0
		5人以上	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0
	合計	10.0	70.0	10.0	10.0	0.0	0.0	100

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

[質問3]今夏は、監視に専念する係（指導する職員とは別に、監視のみをする職員）をプール活動中に配置するように体制を組みましたか？



[質問4]質問3で「はい」と答えた場合、実際に毎回、監視に専念する職員をおくことができましたか？



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

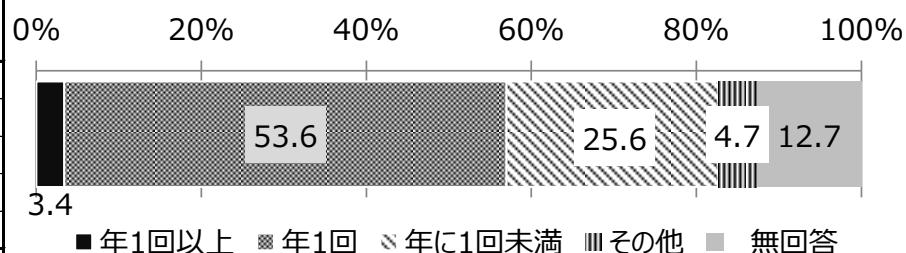
5.緊急時対応について

(質問1)救急蘇生法のトレーニングの頻度を教えてください。

◆正職員

n= 386

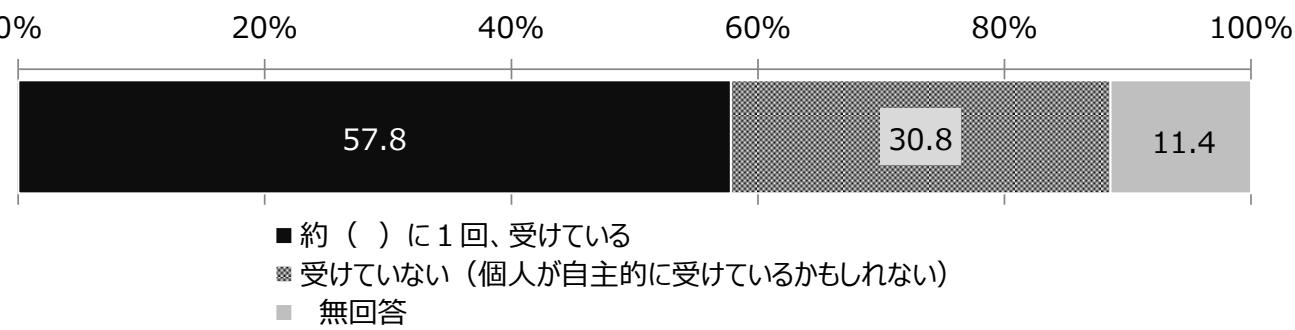
	回答数 (件)	回答率 (%)
年1回以上	13	3.4
年1回	207	53.6
年に1回未満	99	25.6
その他	18	4.7
無回答	49	12.7
合 計	386	100



◆非正規職員

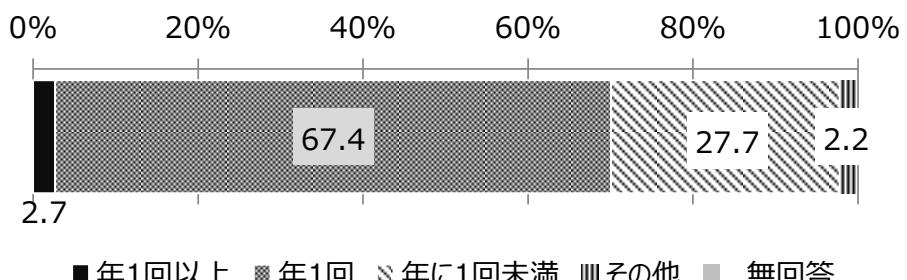
n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
約()に1回、受けている	224	57.8
受けていない(個人が自主的に受けているかもしれない)	119	30.8
無回答	43	11.4
合 計	386	100



n= 224

	回答数 (件)	回答率 (%)
年1回以上	6	2.7
年1回	151	67.4
年に1回未満	62	27.7
その他	5	2.2
無回答	0	0.0
合 計	224	100

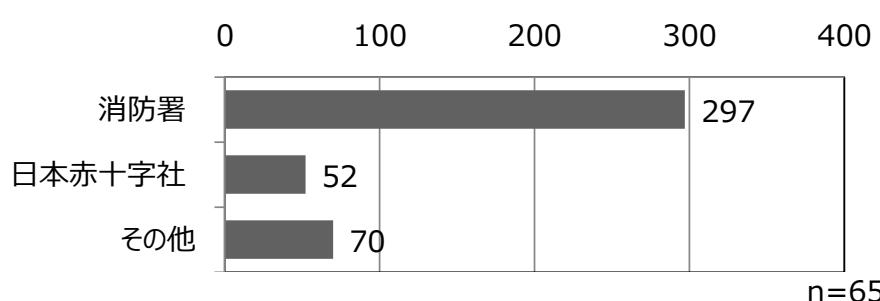


教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

〔質問2〕トレーニングはどこからうけているか（複数回答）

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
消防署	297	83.0
日本赤十字社	52	14.5
その他	70	19.6

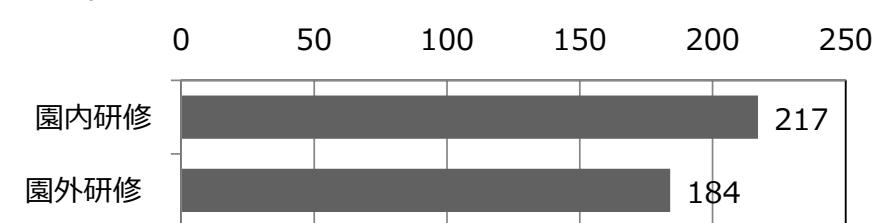


分類	件数	「その他」の主な記載内容
研修	18件	市の研修 救急関係講習会
看護師等	15件	看護師 保健センター看護師
事業者	13件	A E D 購入業者 警備会社
園内職員	5件	研修を受けた職員 自園の看護師 応急手当普及員有資格の職員
医師等	4件	園医
その他	10件	N P O 法人 市民救命士 医療機関

〔質問3〕トレーニングはどこで受けているか（複数回答）

n= 350

	回答数 (件)	回答率 (%)
園内研修	217	62.0
園外研修	184	52.6



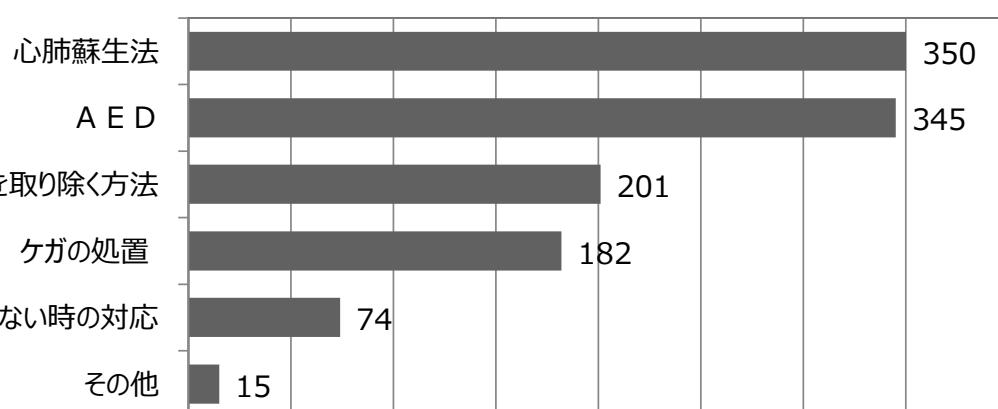
教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

(質問4)トレーニングを受けている内容について（複数回答）

n= 367

	回答数 (件)	回答率 (%)
心肺蘇生法	350	95.4
喉や気道内の異物を取り除く方法	201	54.8
A E D	345	94.0
ケガの処置	182	49.6
子どもが園庭で倒れて動かない時の対応	74	20.2
その他	15	4.1

0 50 100 150 200 250 300 350 400



n=14

「その他」の主な記載内容

プールで溺れたときの対応など
プール事故等
水あそび
(熱性等) 痙攣、頭部打撲
熱性けいれんの対処
アナフラシキーショックの対応 (エピペン)
エピペンの使い方
やけど、ハチにさされた時
やけど。
ハチにさされた時の処置
虫さされ等の処置
自衛隊を退職された方が、職員として働いている為、その方に、緊急時は、対応して頂いている。
出血時の対応
吐嘔の手順

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

(質問5) 救急車を呼ぶ時の手順を決めていますか?

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
はい	274	71.0
現在、検討中	66	17.1
いいえ	31	8.0
無回答	15	3.9
合 計	386	100



n=239

「はい」の方の手順の主な記載内容

事故発生→応急処置→状況に応じて嘱託医に連絡→保護者への連絡病院決定→搬送 →救急車要請→病院へ搬送 →保護者に連絡→救急車要請→搬送 ◎状況に応じて対応も異なる。

携帯電話で 119 番通報→保護者に固定電話で連絡。→担当課に連絡→記録用紙に記入したものを一部コピーし病院に持て行く。→救急車搬入の指示をし、救急車に乗る（必要な物を持っていく） 救急車が病院を決めると保育所に連絡→また担当課にも病院名を連絡する。

担任が発見→職員室に内線（管理職に知らせる）→管理職と共に看護師現場へ→看護師の視診・触診の結果から管理職が判断し、主任に救急車要請の電話をするよう指示→主任が電話をする。

傷病者の確認（1人その場で付添）→他の園児を1ヶ所に集める（1人）→所長又は主任に報告→確認し救急車手配（1人）→保護者に連絡

（1）ケガや急病の子どもの処置を速やかに行う。（2）保護者に連絡をする。…状況を説明する。救急車を呼ぶことを伝え、保護者の了解を得る。（3）救急車を呼ぶ…必ず園長、または看護師の同意を基に連絡をする。（4）再度保護者にどこの病院を受診するか伝え、保護者にも付き添いをお願いする。

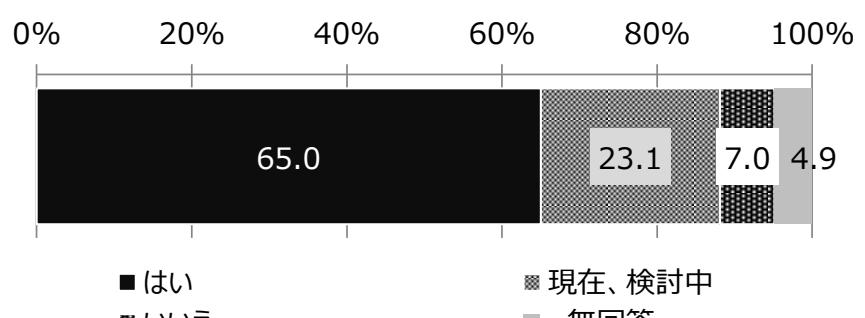
（事故、けが、中毒、けいれん等、子どもの状況を観察、記録（時経列）をしておき、119番に連絡）（1）深呼吸をして、おちつく（2）119番に連絡（3）子どものようすを伝える。（4）救急連絡をすると同時進行で、保護者に連絡。救急連絡中も、安全、気道の確保。（5）時経観察

発見者（応急手当）→近くの職員に連絡（記録をとる）〈発見時、場所、状況等〉→園長・主任（→救急車を呼ぶ→救急車に添乗する人→第一発見者又は担任 保護者）に連絡→担任→保護者へ連絡

(質問6) 重大事故が起きた時の役割分担、対応の手順を決めていますか?

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
はい	251	65.0
現在、検討中	89	23.1
いいえ	27	7.0
無回答	19	4.9
合 計	386	100

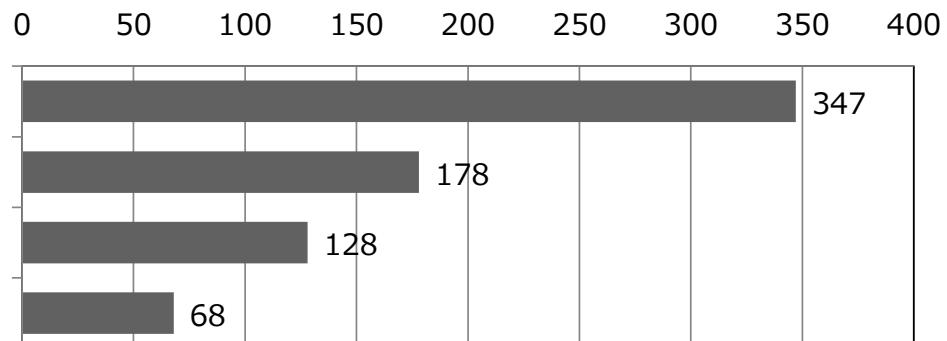


教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

[質問7] 救急車を呼ぶかどうか、決定権を持っている方を教えてください。（複数回答）

n= 379

	回答数 (件)	回答率 (%)
理事長および、または施設長	347	91.6
リーダークラスの職員	178	47.0
正規職員	128	33.8
その他の職員	68	17.9

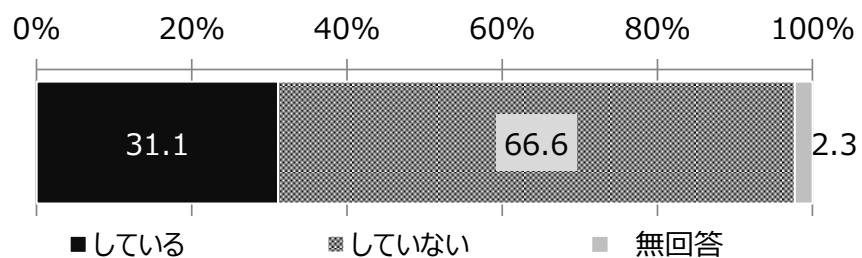


[質問8] 重大事故発生後の対応について、想定訓練をしていますか？

a) 事故発生直後の訓練（通報、同行、救急処置等）

n= 386

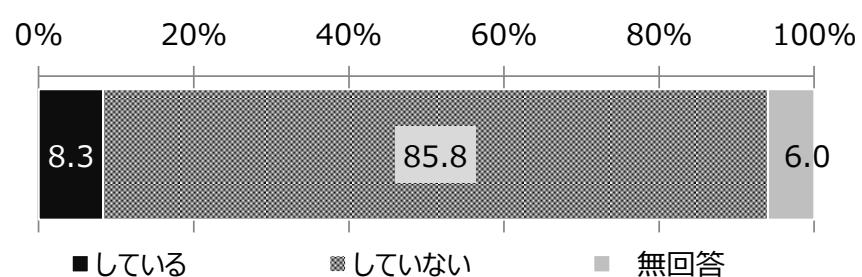
	回答数 (件)	回答率 (%)
している	120	31.1
していない	257	66.6
無回答	9	2.3
合 計	386	100



b) 重傷（症）、死亡後の訓練（通報、警察等への対応等）

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
している	32	8.3
していない	331	85.8
無回答	23	6.0
合 計	386	100



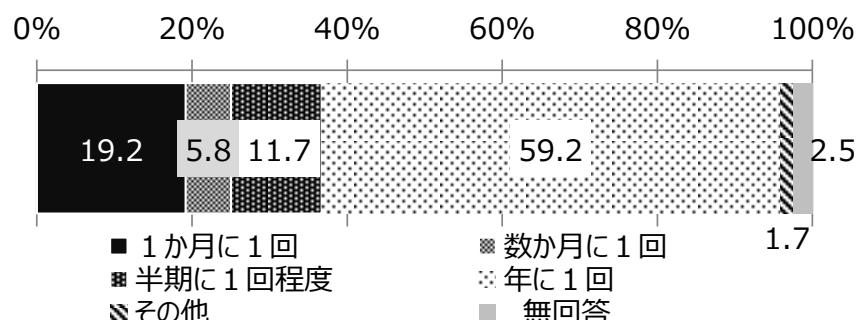
教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

(質問9)質問8で「している」と回答した方
想定訓練の内容と頻度を教えてください。

◆頻度

n= 120

	回答数 (件)	回答率 (%)
1か月に1回	23	19.2
数か月に1回	7	5.8
半期に1回程度	14	11.7
年に1回	71	59.2
その他	2	1.7
無回答	3	2.5
合 計	120	100



◆内容

n=106

主な記載内容
(1) 年2回消防署との合同訓練 (2) 自主訓練年10回 (3) その他危機管理、防犯避難訓練年8回 火災、地震、防犯教育、園外保育における事故、不審者の侵入 路面凍結、乳児の午睡事故、不審車両の通報、園内外の危険箇所等
SIDS、ひきつけ、固定遊具から落下、プール事故（おぼれる）。
誤食（アレルギー）対応訓練。沐浴室（水におぼれる）対応訓練。睡眠時（無呼吸）対応訓練。嘔吐（口吐）対応訓練。誤嚥窒息（おもちゃを詰まらせる）対応訓練。外あそび時転倒対応訓練 etc
0歳児クラス、SIDS訓練
食物アレルギー児の誤食対応
看護士を交えての園内研修と同時に、各機関への通報や連絡、対応をロールプレイング式の研修で行っている。
熱性けいれんを起こした場面を想定し、実際に子どもの役、時間を測る役 連絡する役等を決めてシミュレーションをしている。
自衛消防訓練（総合訓練）を行うために、消防署員の派遣と消防車両を要請し、火災や地震の場合の消火や初期対応の仕方、また通報の仕方などの訓練を全職員、全園児で行なっている。
プールにおける事故を想定し訓練を行う。
外あそび中、ブランコから落下、骨折を想定。

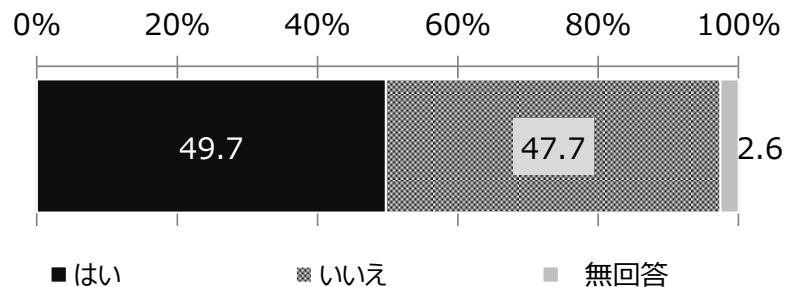
教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

7. 事故予防

〔質問1〕事故予防のマニュアルがありますか？

n=386

	回答数 (件)	回答率 (%)
はい	192	49.7
いいえ	184	47.7
無回答	10	2.6
合 計	386	100



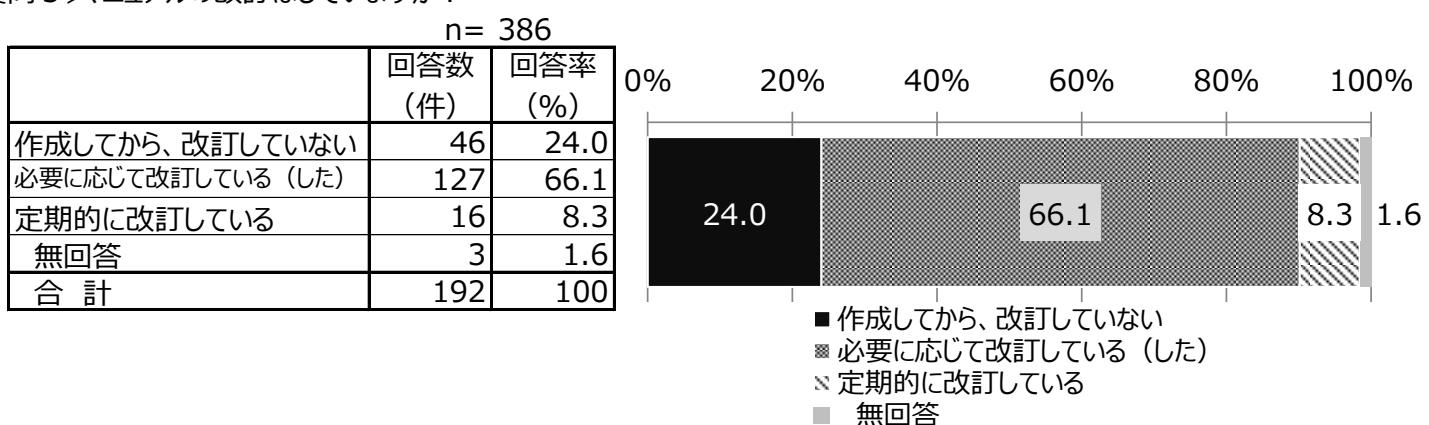
〔質問2〕（質問1で「はい」とお答えになった施設の方に伺います）。マニュアルの内容を教えてください。

n=169

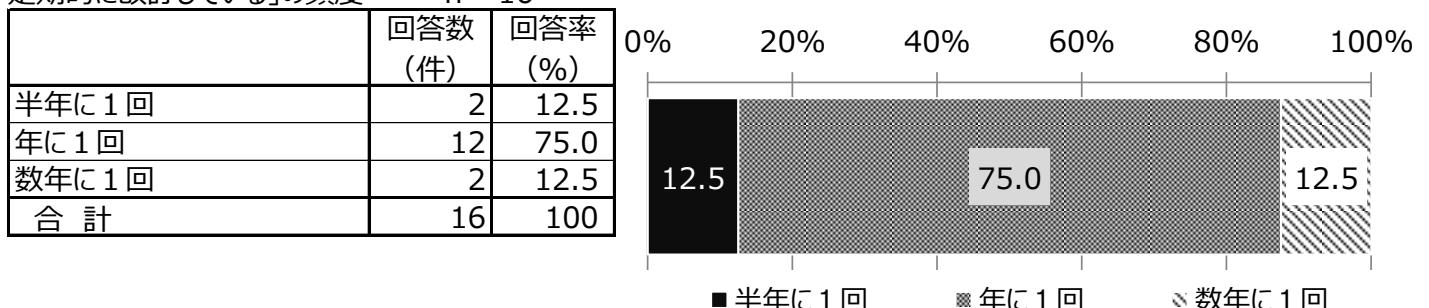
主な記載内容
誤食（アレルギー）対応訓練・沐浴室（水におぼれる）対応訓練・睡眠時（無呼吸）対応訓練・嘔吐（口吐）対応訓練・誤嚥窒息（おもちゃを詰まらせる）対応訓練・外遊び時転倒対応訓練 etc
年令別事故防止マニュアル。虐待防止。散歩の方法（道順）。プールの監視。食物アレルギー。SIDS。感染症。健康管理。緊急時の連絡体制。衛生管理。給食室の安全衛生管理。感染病。投薬。災害・事故。食中毒への対応。保育中の安全衛生管理など。
◎事故発生予防（1）子どもの持つリスク対策（2）保育者の持つリスク対策、園児への対応、施設、園庭などの対応（3）施設、設備、遊具の持つリスク対策 2. 場所別、年齢別にみた主な事故例。4. 事故発生後の対応。
グラウンドでの注意事項、プールでの注意事項、倉庫での注意事項 印刷室での注意事項、園庭での注意事項、送迎車の注意事項 幼児室（歯ブラシ、窓、ブロック、キッチンセット、ストーブ、本棚、鉛筆、コンセット）での注意事項、職員室、給食室、トイレ、玄関（階段、戸）での注意事項
玩具担当が3ヶ月に1回園庭や玩具の点検を行い、危険箇所を修理している。（遊具チェックリストの作成）お散歩MAPを作成し、散歩の道のりや危険箇所が無いか点検している。
勤務マニュアル（冊子）（目次）危険を伴う遊びについて P32 園外保育について P36 プール遊びについて P40 アレルギー児の対応について P49 誤飲窒息事故を防ぐために P51 主なけがの対応 P57 事故が起きた時の対応 P63 薬持参の子の対応 P86 共通理解・再確認すること（冊子）1. 戸外遊びについて 18. バス、送迎時の注意事項について。
散歩など園外に出る場合は、前もって、下見に行き、計画書（歩くコースの地図と状況を添付）を作成し、役場にも、そのつど提出している。プールについては、クラスごとに入り、必ず2人担任で、遊ばせ、ひとりが、全体の監視にあたっている。園庭（園舎内も）は、「ヒヤリハット」を作成し、全職員で危険箇所を把握して、安全対策を行って遊ばせている。また、園舎危険箇所写真マップを掲示している。
室内所外で事故防止チェックリストを作り、全職員月1回チェックをし、意識して安全に活動できるようにしている。散歩、プール、戸外遊び、雪遊び、火災地震不審者侵入、虐待等手順など
保育の安全心得 1. 園舎内外の安全。2. 日課 3. 園外保育 4. 行事 5. 非常災害 6. 危険を伴う活動 7. 障害のある子への安全 8. 地域ニーズの対応
冷凍母乳の管理・症状別対応、熱中症・麻疹流行時の対応マニュアル。事故発生時および受診時チェックリスト、誤飲事故が起きたときの対処法。

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

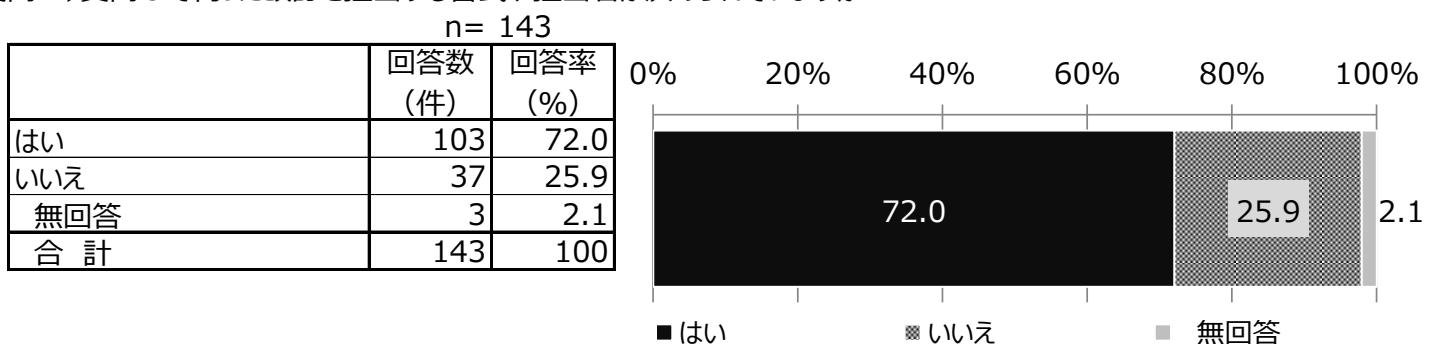
[質問3]マニュアルの改訂はしていますか？



◆「定期的に改訂している」の頻度 n= 16



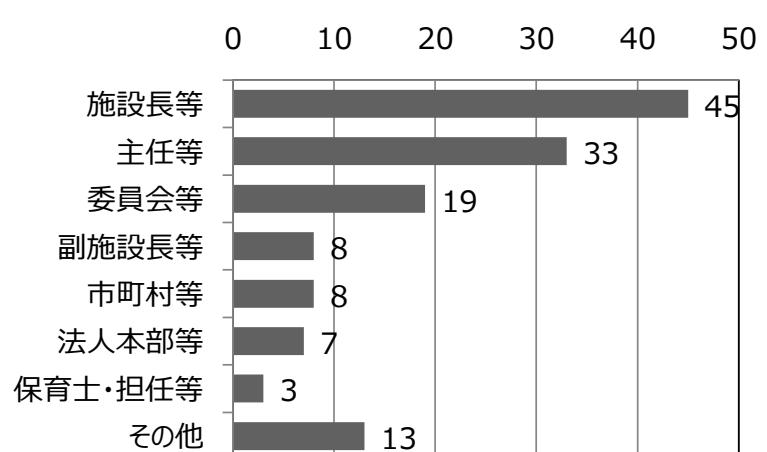
[質問4]質問3で伺った改訂を担当する書式や担当者が決められていますか？



◆改訂を担当する組織や担当者が決められている場合の組織・担当者の部署名（自由記述）

n= 108

	回答数 (件)	回答率 (%)
施設長等	45	41.7
主任等	33	30.6
委員会等	19	17.6
副施設長等	8	7.4
市町村等	8	7.4
法人本部等	7	6.5
保育士・担任等	3	2.8
その他	13	12.0



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

(質問5)昨年度、今年度に改訂したマニュアルの内容がありましたら、改訂の概要を教えてください。

n=69

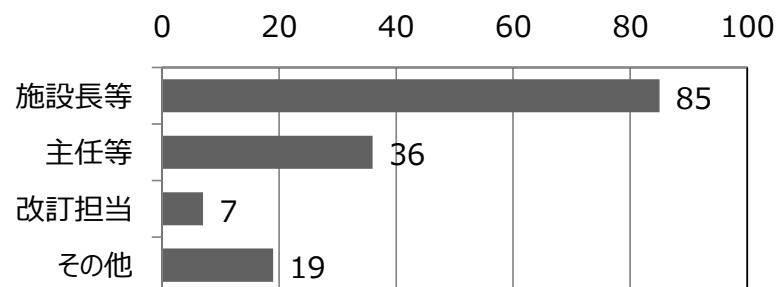
主な記載内容	
地震、津波の避難計画	
不審者侵入対策・冷凍母乳・与薬・排泄・登降園時対応マニュアル・食中毒（疑い）発生時初動対応・おむつ交換	
マニュアル改訂はないが、ヒヤリハットは、危険箇所を発見し、改善するたびに作成し、増やしている。	
衛生マニュアル（ノロ、ロタウイルス、インフルエンザ等感染症発生時の対応の変更）（下痢・嘔吐時の対応の変更）（トイレ入り口前の消毒についての変更）等	
園庭遊具の危険指適箇所の改善	
環境整備、事故発生手順、怪我、衛生管理、感染症、ノロウイルス 災害時、不審者、虐待対応	
子どもがいなくなった時の対応（園内・外）、園外保育について。死亡、重篤な事故が発生した時	
不審者対応の講話・指導を受け、前年度より細かい部分に配慮し防犯対策、安全確認を強化	
保育所給食における危機管理マニュアル…アレルギーについて、緊急時体制（食材異常含む）嘔吐物処理、公立保育所危機管理マニュアル…原子力防災について。	
幼保連携型認定こども園へ移行したため、園児の生活時間の違いにあわせた内容に変更。	

(質問6)マニュアルを改訂した場合、改訂したマニュアルの内容は、どのようにして園内（法人内、他）に周知していますか？
(自由記述)

◆誰が

n= 127

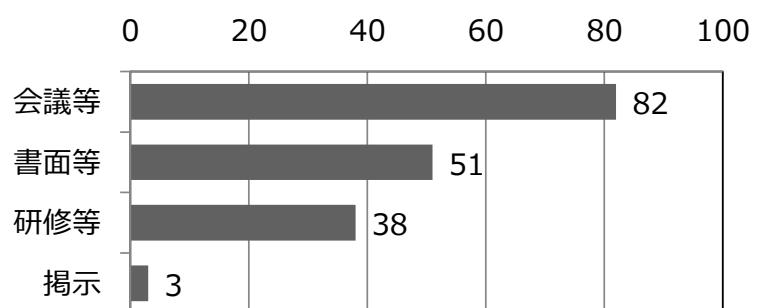
	回答数 (件)	回答率 (%)
施設長等	85	66.9
主任等	36	28.3
改訂担当	7	5.5
その他	19	15.0



◆どのように

n= 133

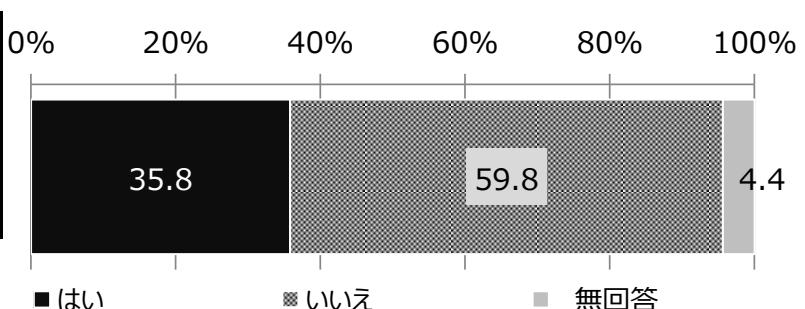
	回答数 (件)	回答率 (%)
会議等	82	61.7
書面等	51	38.3
研修等	38	28.6
掲示	3	2.3



(質問7)重大事故の予防に関する園内研修、マニュアル内容の園内（法人内）研修をしていますか？

n= 386

	回答数 (件)	回答率 (%)
はい	138	35.8
いいえ	231	59.8
無回答	17	4.4
合 計	386	100



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

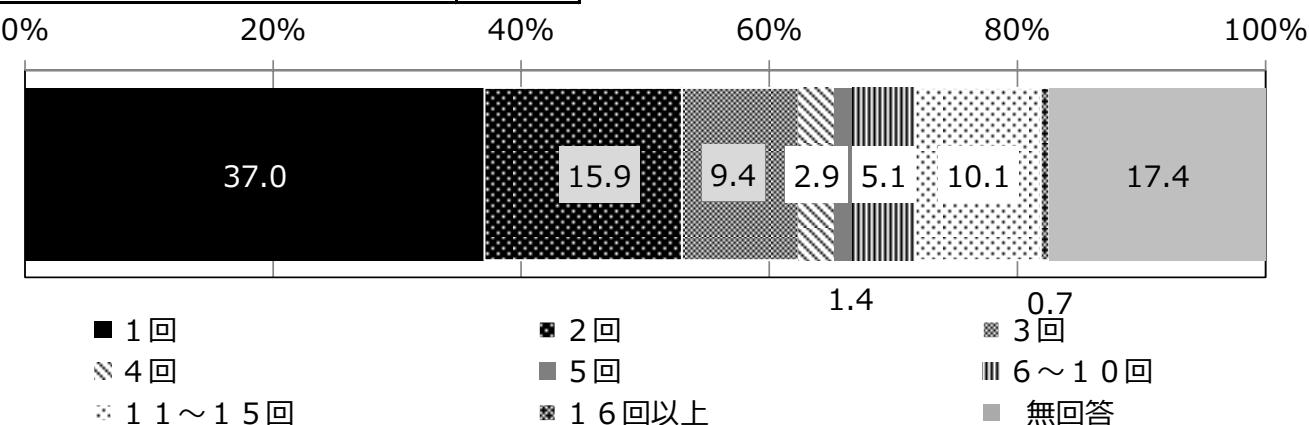
〔質問8〕（質問7で「はい」とお答えになった施設の方に伺います）

a) 昨年度1年間（2014年4月～2015年3月）で何回実施しましたか？

n= 138

	回答数 (件)	回答率 (%)
1回	51	37.0
2回	22	15.9
3回	13	9.4
4回	4	2.9
5回	2	1.4
6～10回	7	5.1
11～15回	14	10.1
16回以上	1	0.7
無回答	24	17.4
合 計	138	100

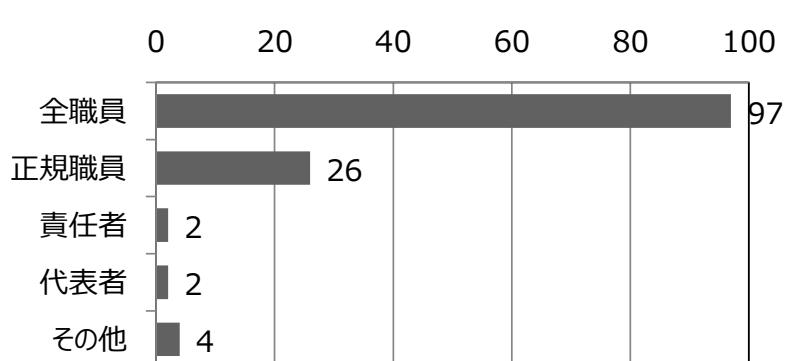
平均(回)	3.5
最小値(回)	1
最大値(回)	24



b) 研修の対象者を教えてください。（自由記述）

n= 130

	回答数 (件)	回答率 (%)
全職員	97	74.6
正規職員	26	20.0
責任者	2	1.5
代表者	2	1.5
その他	4	3.1

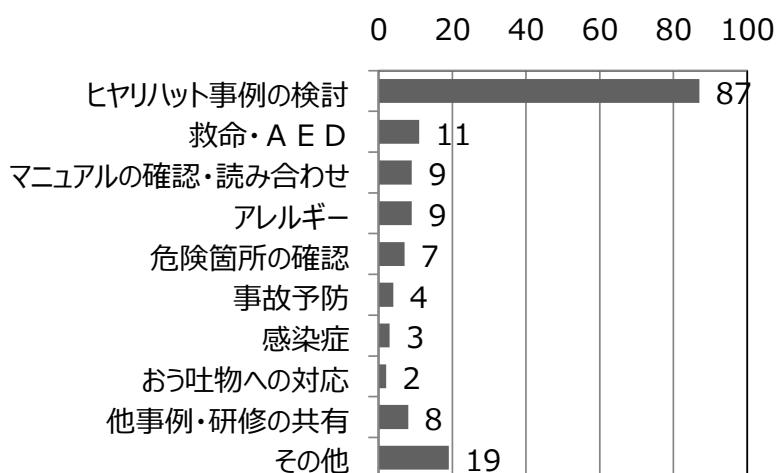


教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

c) 園内研修の内容を教えてください。（自由記述）

n= 120

	回答数 (件)	回答率 (%)
ヒヤリハット事例の検討	87	72.5
救命・A E D	11	9.2
マニュアルの確認・読み合わせ	9	7.5
アレルギー	9	7.5
危険箇所の確認	7	5.8
事故予防	4	3.3
感染症	3	2.5
おう吐物への対応	2	1.7
他事例・研修の共有	8	6.7
その他	19	15.8



主な記載内容

ヒヤリハット、看護師による「嘔吐処理対応」栄養士による「アレルギーについて」・第三者評価自己評価票を元に話し合い。
ヒヤリハット事例の検討、グループ討議、S H E L Lに記入
交通安全対策、感染症対策、冬期の除雪対策、子どものケース検討 火災、地震訓練のふりかえり、園外の危険物やゴミ拾いについて等。
感染症について。嘔吐物処理について。食物アレルギーについて。予防接種についてなど。
睡眠時の観察、子どもに多いケガ等の予防、対処等について。
夏のプール利用について（監視役の配置・プール消毒測定チェック表・D V D上映（事故防止対策）－プール、すべり台など遊具、鬼ごっこ・園のマニュアル確認・自己安全点検表
消防署員や、損害保険会社による研修
「保育事故における注意義務と責任」の本をもとに研修
消防署職員から来ていただき、来石や、増水について学んだ

〔質問9〕園内研修を行う上で課題がありましたら、教えてください。

n=68

分類	件数	主な記載内容
職員への周知に関すること	27件	園の全職員（特に非正規）の参加が、難しい。（後日、通達はしておるが）また検討をするが、それを今後どう生かしていくかが、課題。 全員が同時期に集まるのは難しいので、全職員が集まれない時は二回に分けたりしている。正規職員だけの時もあるので、全員に周知するため記録を確認してもらっているが、周知が十分でない時がある。
研修時間に関すること	26件	皆がそろう時間、経験年数に応じて学びたい内容がちがう 基本的に全職員としているが全員参加できる時間がとれず、交替で参加したり、報告のみの場合がある。特にパート職員が参加できないでいる。
研修の内容に関すること	6件	ヒヤリハットの事例の検討を、毎月していきたいのだが、なかなかできない ヒヤリハットを検討する事こそ、事故防止につながると思う。 ヒヤリハット検討・救急法を学びながら、自己評価をして今後にいかしていく。
意識の向上に関すること	3件	会議の内容を全職員が周知すること。職員一人一人の危険予知力、危機意識の向上 子どもの目線で、つねに危険がないか気をはる。（職員一人一人が）
その他	10件	外部講師の方が園に来てくれては全職員が参加できて良いと思う。 資料不足、視聴覚教材がほしい。（例）エピペンのようなD V D資料等。 未然に防止をする対応をしている為重大事故を体験する事はない 実際、他の保育園で起こったケース等冊子にして教えてほしい。想定のイメージがきちんと浮かぶと思う。 どうしても人ごとになってしまって、定期的に行わなければと思ってますが回数は限られます。 全職員が発言する事で色々な観点から見直すことが出来る

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

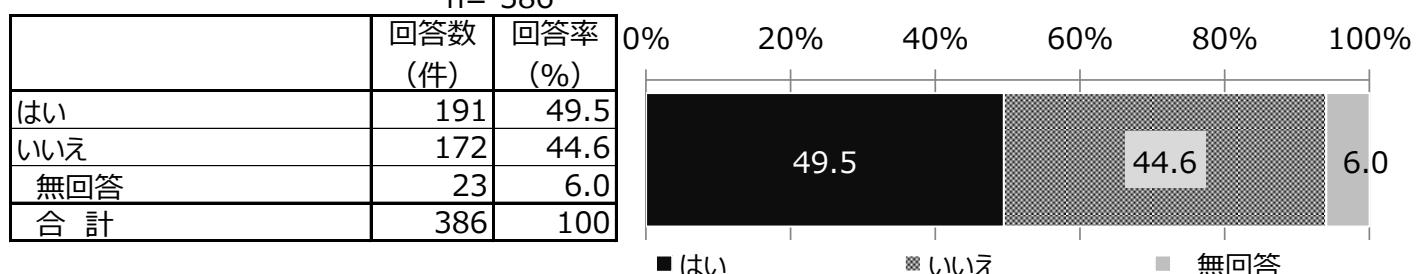
〔質問10〕重大事故防止に関して行っている園内研修で、「これはよかった」「効果があった」というものがありましたら、教えてください。

n=66

分類	件数	主な記載内容
事故事例	9件	<p>同じ事例を使ってリスクマネジメントを行う事で、気づかなかつた部分と自分自身の保育の見直しをする事ができた</p> <p>熱性けいれんがある事を知らず、突然子どもがバタンと倒れた時は、職員が平素の訓練で得ている知識を活かし、スムーズに救急車を呼べたり、保護者の方にもスムーズに連絡をとる事ができたので、平素の訓練の大切さを職員みんなで、共有し合えた。</p> <p>白玉だんご、チチトマト等誤嚥による窒息への対応 食育への栽培でチチトマトを所庭で行っていたが、裏庭で栽培することにした。また調理員との大きさ等連携を密にすることにした。</p>
ヒヤリハット	8件	<p>ヒヤリハットの研修 目黒巻 S H E L L 分析</p> <p>ヒヤリハットの事例検証により室内環境の見直しができた。事故の数が減った</p>
職員の話し合い	7件	<p>改めての研修よりも、常に互いに気がついたことを、注意し合うことが有効。コードのひもがたれていて危ない。花びんが手の届く高いところで危ない。ロッカーからひもが出ていて危ない等。</p> <p>研修時、園内の危険箇所や、事故につながると、予想される園児の行動について話し合うことで、職員の安全に対する意識が高まった。それによって、安全な環境作りを個々の職員が工夫して行うようになった。</p> <p>保育士の経験年数もさまざまなので経験のある人の話を若い人が聞いて気をつけなければならないことを知ることができ事故の予防に効果があるのではないかと思っている。</p>
危険箇所	6件	<p>園外への活動時、道路や公園マップを作成して全職員が統一した道順や活動ができるようにした。</p> <p>園庭の写真を見て、危険箇所の検討は、それぞれの年齢でも違ってくるので、様々な角度から見られて良かった。</p>
救急・AED	6件	A E Dは毎年受けているので、忘れずに覚えていくことで効果がある。
外部講師の講義	4件	外部講師の最新の事故防止、保護者対応の話。
SHELL分析	2件	シェルシートを活用しての要因分析
アレルギー	2件	アレルギーの誤食があった後、すぐに、みんなで考え、マニュアルを作った事はよかったです。また、外部講師の方の話を聞いた後の、事故例をあげ、考える研修もよかったです。
その他	13件	<p>グラフを表して事故発生時間帯を見る事で改めて配慮しなければならない時間帯を知り、子ども達から目を離さないよう声掛けし合っている。</p> <p>プールの事故防止について。</p> <p>絵を、見て、考えられる危険を考える研修、その人によって視点が違ったり、危機管理の具合（丁度）がわかる。</p>

〔質問11〕重大事故につながるようなニアミス事例に関して、再発防止、重大化防止のための組織的な検討を行っていますか？

n= 386



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

〔質問12〕（質問11で「はい（検討を行っている）」とお答えになった施設の方に伺います）

a) 検討のための組織は、どのような構成ですか？（自由記述）

n=173

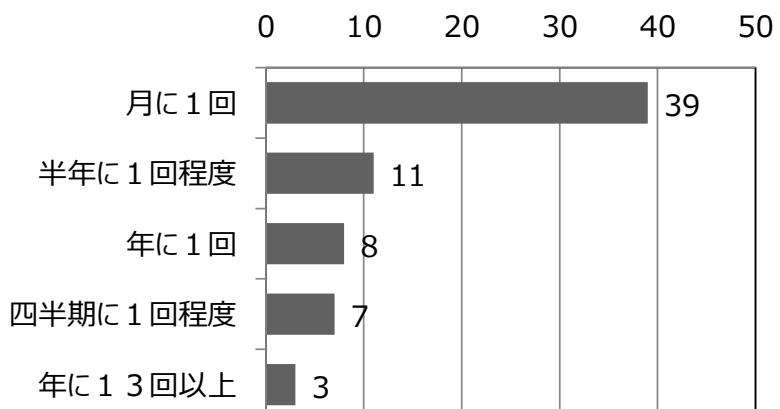
分類	件数	主な記載内容
全職員	44件	全職員で話し合い検討を行っている
幹部職	44件	ニアミス事例を職員会議やリーダー研修会等で話し合うために、園長と園長補佐で、あらかじめ再発防止について話し合いをする。
職員会議	31件	特に0-2才は、毎月、ヒヤリハットを記入し、職員会議で連絡、伝達をしている。3-5才は、事故が、あつたとき事後処理、で職員間共通理解し、施設内の点検を全員で行なう
委員会	20件	危機管理委員会を設け、年令に1人ずつ代表者が2ヶ月に1回集まり委員会を開いている（今年から行なっている）
正規職員	12件	正規職員で事故について話し合い、改善点を非正規職員に伝える
担任等	7件	そのクラスでおきたことを担任が表にまとめ、全員に周知させる 今後事故がおきないよう検討していく。
研修会	5件	園内研修会議の中で行っている
報告書提出	4件	ヒヤリハット報告書を記入している
その他	5件	姉妹園の3園

b) 昨年度1年間（2014年4月～2015年3月）で何回、検討を行いましたか？

◆定期的に

n= 80

	回答数 (件)	回答率 (%)
年に1回	8	10.0
半年に1回程度（年に2～3回）	11	13.8
四半期に1回程度（年に4～5回）	7	8.8
半年に1回程度以上（年に6～11回）	6	7.5
月に1回（年に12回）	39	48.8
それ以上（年に13回以	3	3.8

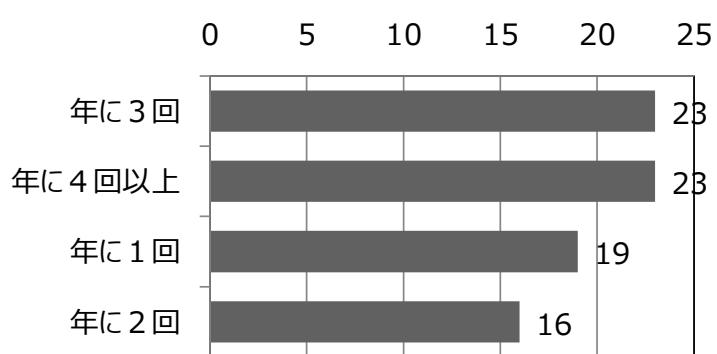


平均 (回)	8.5
最小値 (回)	1
最大値 (回)	24

◆事故があつた時だけ開催するので、不定期に。

n= 80

	回答数 (件)	回答率 (%)
年に1回	19	23.8
年に2回	16	20.0
年に3回	23	28.8
年に4回以上	23	28.8



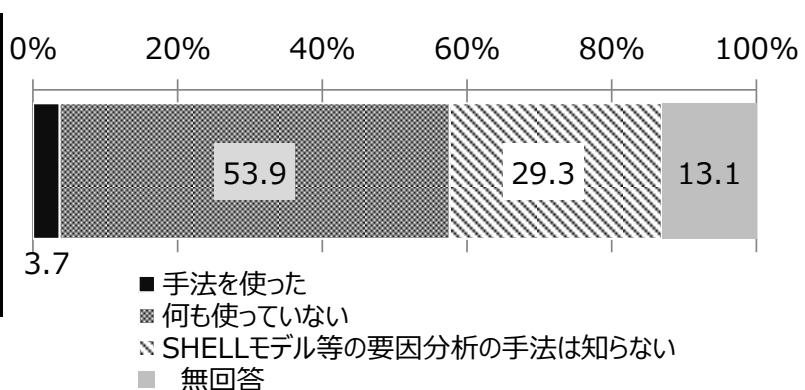
平均 (回)	3.5
最小値 (回)	1
最大値 (回)	36

教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

c) 原因と対策の検討においてSHELLモデル等の要因分析の手法を使いましたか？

n= 191

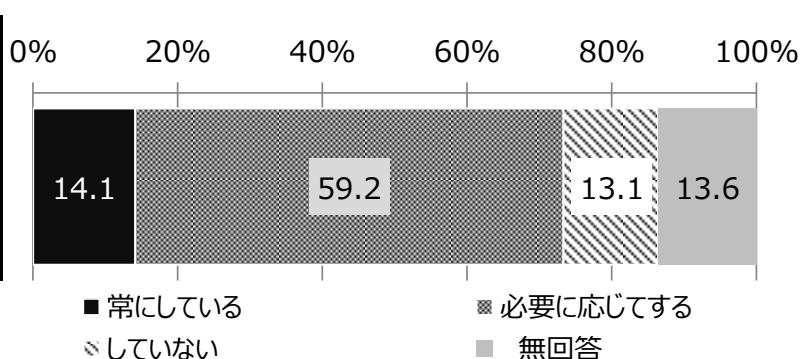
	回答数 (件)	回答率 (%)
手法を使った	7	3.7
何も使っていない	103	53.9
SHELLモデル等の要因分析の手法は知らない	56	29.3
無回答	25	13.1
合 計	191	100



(質問13)検討後、マニュアルへの反映をしていますか？

n= 191

	回答数 (件)	回答率 (%)
常にしている	27	14.1
必要に応じてする	113	59.2
していない	25	13.1
無回答	26	13.6
合 計	191	100



教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関するアンケート 事業者向け調査結果

〔質問14〕過去1年ぐらいの間にあった、重大事故につながるようなニアミス事例を教えてください。（自由記述）

◆年齢別件数

n=232

分類	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	その他	合計
転倒	10	40	40	42	44	33	7	216
転落	1	22	21	23	24	25	1	117
衝突	1	9	9	11	13	15	3	61
ぶつかる	1	2	12	12	10	8	0	45
はさむ	3	9	6	4	9	2	0	33
誤食	1	12	7	7	2	1	1	31
異食	7	4	3	4	0	1	0	19
行方不明	0	5	5	5	3	0	0	18
噛まれる、叩かれる	2	5	4	2	0	0	0	13
異物が入る	0	2	2	3	3	1	1	12
倒壊	0	4	2	1	1	3	0	11
交通事故	0	0	2	5	1	2	1	11
切る	0	1	0	1	3	3	0	8
動物・虫	0	0	2	1	1	2	1	7
引っ張られる	0	2	1	2	0	0	0	5
やけど	1	0	1	1	0	1	0	4
押される	0	1	0	2	0	0	0	3
誤薬	1	0	1	0	1	0	0	3
誤嚥	0	1	0	0	0	1	0	2
溺水	0	0	1	1	0	0	0	2
その他	2	6	2	2	1	3	3	19
合計	30	125	121	129	116	101	18	640

◆年齢別割合

分類	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	その他	合計
転倒	33.3%	32.0%	33.1%	32.6%	37.9%	32.7%	38.9%	33.8%
転落	3.3%	17.6%	17.4%	17.8%	20.7%	24.8%	5.6%	18.3%
衝突	3.3%	7.2%	7.4%	8.5%	11.2%	14.9%	16.7%	9.5%
ぶつかる	3.3%	1.6%	9.9%	9.3%	8.6%	7.9%	0.0%	7.0%
はさむ	10.0%	7.2%	5.0%	3.1%	7.8%	2.0%	0.0%	5.2%
誤食	3.3%	9.6%	5.8%	5.4%	1.7%	1.0%	5.6%	4.8%
異食	23.3%	3.2%	2.5%	3.1%	0.0%	1.0%	0.0%	3.0%
行方不明	0.0%	4.0%	4.1%	3.9%	2.6%	0.0%	0.0%	2.8%
噛まれる、叩かれる	6.7%	4.0%	3.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
異物が入る	0.0%	1.6%	1.7%	2.3%	2.6%	1.0%	5.6%	1.9%
倒壊	0.0%	3.2%	1.7%	0.8%	0.9%	3.0%	0.0%	1.7%
交通事故	0.0%	0.0%	1.7%	3.9%	0.9%	2.0%	5.6%	1.7%
切る	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	2.6%	3.0%	0.0%	1.3%
動物・虫	0.0%	0.0%	1.7%	0.8%	0.9%	2.0%	5.6%	1.1%
引っ張られる	0.0%	1.6%	0.8%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
やけど	3.3%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	1.0%	0.0%	0.6%
押される	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
誤薬	3.3%	0.0%	0.8%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%
誤嚥	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.3%
溺水	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
その他	6.7%	4.8%	1.7%	1.6%	0.9%	3.0%	16.7%	3.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

◆主な記載内容 (1/2)

事故の形態	年齢	場所	状況
転倒	0	保育室	おむつ交換台の柵につかり伝い歩きをしていた際、手を離してしまい口を強打し、出血する。
転倒	1	園庭	歩行が十分安定していなかったが、園庭の隅の方の足場の悪いところでつまづき、転んで口唇を切った。
転倒	2	プール	プールからあがり、外側階段を降りていたところ（職員もついていたが）足が滑り階段の手すり部分に頭がはまる。
転倒	3	園庭	鬼ごっこ中、前にタイヤがあったのに気づかずつまづいて転んで前歯が3本動いた。
転倒	4	テラス	8時半迄に登園した園児は、所定の保育室で保育をしているが、自分の保育室に行く際、着替え袋を引きずっていた為、その紐に足をひっかけ、転倒した
転倒	5	保育室	床がぬれていてすべて転び、出入口のサッシで頭を打って3針縫った。
転落	0	保育室	ベビーベッドの柵を上げ忘れていた。そばにいた保育士の声ですぐに上げ、そばまでできていたが転落なし
転落	1	室内	食事前の準備中にテーブル付乳児用椅子に座っていた子が立ちあがり体重をテーブル前方にかけ落ちそうになった。
転落	2	公園	滑り台の階段を踏み外して転落しそうになる。→そばについていた保育士が手でさえた。
転落	3	公園	遊具（ロッククライミング）に登る途中、手が届かず転落、たんこぶとすり傷（病院受診）
転落	4	散歩先 公園	警笛ゲームをしていて滑り台に大勢が群がった。鬼ごっこのような形で滑り台に逃げた子が何名か集中してしまった。踊り場に逃げた子が集中してしまい、はじき落とされてしまった。コンクリートの上に落ちて放心状態の所を保育士が気づいて声掛け。声掛けに反応したがその後、痙攣、すぐに受診。幸い大事には至らなかった。
転落	5	園庭	滑り台の滑り口で後の児が背中を押して、急かせた。バランスをくずし、転落。
衝突	2	廊下	トイレに行こうと部屋を出ようとして顔を横に向けたら、そこに友だちがいておでこが同士ぶつかる。
衝突	3	園庭	雨のため、通路で、走り回っていたが、先に走っていたA児が振り向き、後からきていたB児とぶつかり、2人ともおでこやまゆの下をうつてしまう。
衝突	4	遊戯室	柱のかげから飛び出し友だちとぶつかる。
衝突	5	園庭	ソリ遊びしていた園児が、ソリのスピードが落ちず、敷地外に出てしまい、となりの草地のかれた草の枝で目の下のほほをかすった。
ぶつかる	2	園内	ブロックの取り合いとなり、友達の指がブロックが目に当たり、ケガ。目のことなのですぐに眼科に連れていった。
ぶつかる	5	園庭	水飲み場の蛇口で口を飲んでいた子に向けてボールを投げつけ、頭に当たって口を切った。
はさむ	1	保育室	机の側に子供が来て、引き出しをあけた。それにつかまっていた子がいるのを知らず、他児が閉めた為、指がはさまった。
はさむ	2	トイレ	部屋のトイレ入り口ドアで手をはさんだ。（ドア枠に、隙間ができるよう、安全ウレタンガードを付けた）
誤食	1	保育室	おやつ時、アレルギー除去の確認をすべて終わり食べるが、おかわり時に、除去ではないおやつをあげる 2／3は食べてしまう
誤食	3	保育室	アレルギー児用にはラップをかけ名前を記入しているが、この日はそれがなかったので、そのまま提供し、後で誤食に気づく、特に症状は出なかった。

◆主な記載内容 (2/2)

事故の形態	年齢	場所	状況
異食	0	散歩先	レジャーシートからほふく前進で出てしまい口の中に小石を入れてしまった。保育士が出そうとしたが飲み込んでしまった。その後、排便で出た
行方不明	1	公園	数人ずつのグループで遊んでいたが、全体を見ている保育士がおらず、公園の外に出てしまった子がいることを通りすがりの人が教えてくれる。
噛まれる、叩かれる	2	保育室	プール準備で着替えをしている際、各自、自席に居たが、相手の言った言葉を受け、かみついた。
異物が入る	4	保育室	家から持ってきた枝豆を鼻の中に入れる
倒壊	2	室内	可動式の絵本棚に登ったため、キャスターが重みですべり倒れた。園児が下敷きとなつたが遊具等でさえられ、おでこの打撲程度ですんだ（病院診察、異常なし）
交通事故	3	門	帰りの時、保護者と門を出ようとしたところ、走って道路にとび出し、走ってきた車にぶつかりそうになる。徐行したので、大丈夫だったが…。
切る	5	保育室	カレーライスを作る行程で玉ねぎを切っていた児が、包丁をすべらせてしまい、小指の先に切り傷をつくる。
動物・虫	3	園庭	小さいはちを見つけた3才児が、友達に「さわってみて」と言われ、さわって、はちに刺された。
引っ張られる	3	園外	他児と手をつないで園外保育の移動中、急に手をひかれ脱臼してしまった。
やけど	2	園舎脇	水遊び中、保育士のあと追いをし、あつくなったマンホールの上にのる。
誤薬	0	園内	アレルギーの薬シロップを誤って1回分を2回分の量で飲ませてしまった。副作用はなかったので大事にいたらなかった。（すぐに保護者、医療機関に問合せ）
誤嚥	5	保育室	巨峰を丸のみしようとして、のどに詰まらせた。
溺水	2	プール	水深30cm程のプール内でうつぶせの姿勢からあおむけになった際 顔が水につかり自分で起き上がれなくなった。職員が抱き起こす。
その他	1	保育室	ぬいぐるみの首に長いヒモが結びつけてあり、2人で引っぱり合い、首に巻きつきそうになった。
その他	1	保育室	急な発熱とともにけいれんが起き、救急車を呼ぶ。